

保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会

保護者等の観点から見た質の課題について

保育園を考える親の会 代表

普光院 亜紀（ふこういん）

[保育園を考える親の会について]



ANNUAL SURVEY

東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県的主要都市+政令指定都市等

100都市 保育力充実度チェック

『保育に関する調査』の結果
2017年度版

【調査対象データ】
認可・認可外の保育所数
非営利型法人・入居の無償型
保育園
延長保育・休日保育
0歳児保育・障害児保育・療育保育
人員配置・保育士の志
業状況 等。

100

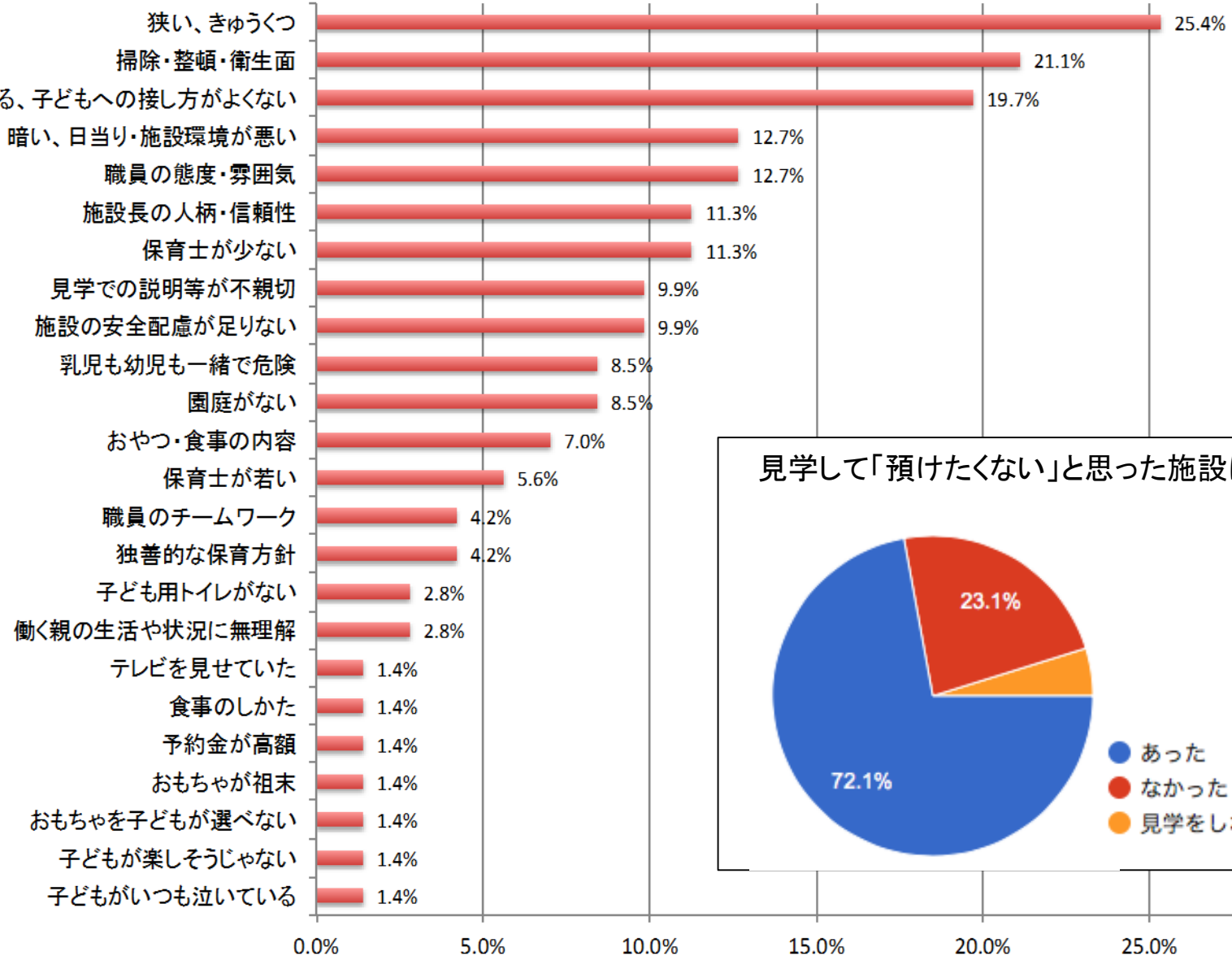
since 1983
働く親のネットワーク。
首都圏中心に400名弱の会員。
情報交換、交流による支え合い。
調査、意見表明、出版。

保護者から見える「保育の質」

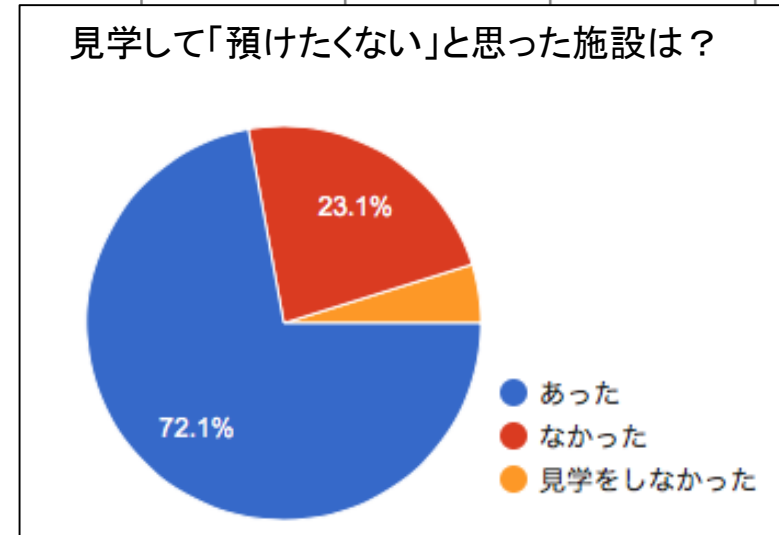
保護者が見学して預けたくないと思った保育施設

保育園を考える親の会 会員アンケート2016

【理由】



見学して「預けたくない」と思った施設は？



71件(=100%)の自由記述の要素分類。見学したのは認可保育所、小規模保育、認証保育所、その他の認可外保育施設など。「狭い」18件の施設内訳は、認証保育所10件、小規模保育3件、その他の認可外3件、区の保育室1件、認定こども園1件。

子どもが在園する保育施設への不安・不満

保育園を考える親の会 会員アンケート2016

【内容】

保育士の子どもへの関わり方

安全面

園長の人柄

保育士の未熟さ

食事

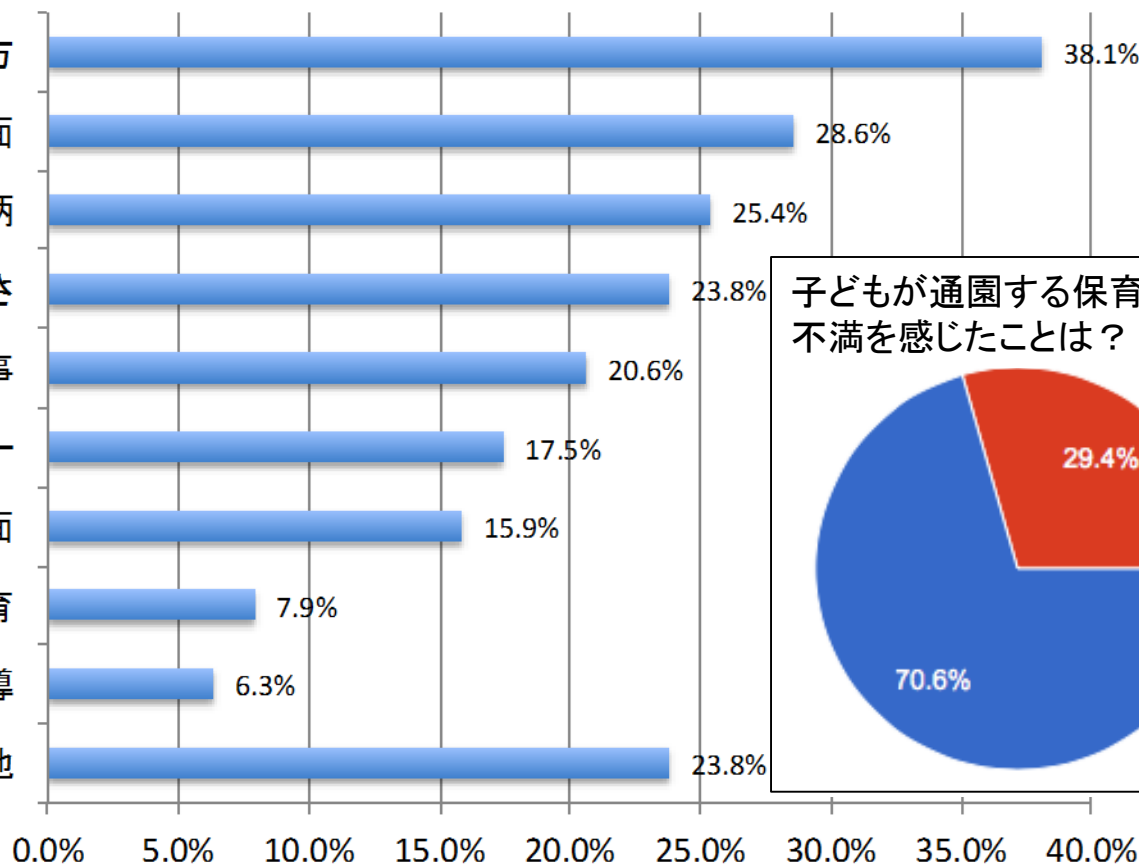
職員のマナー

衛生面

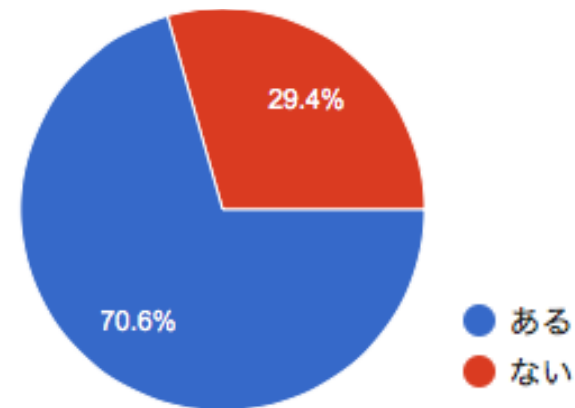
教育

生活習慣の指導

その他



子どもが通園する保育施設に不安や不満を感じたことは？



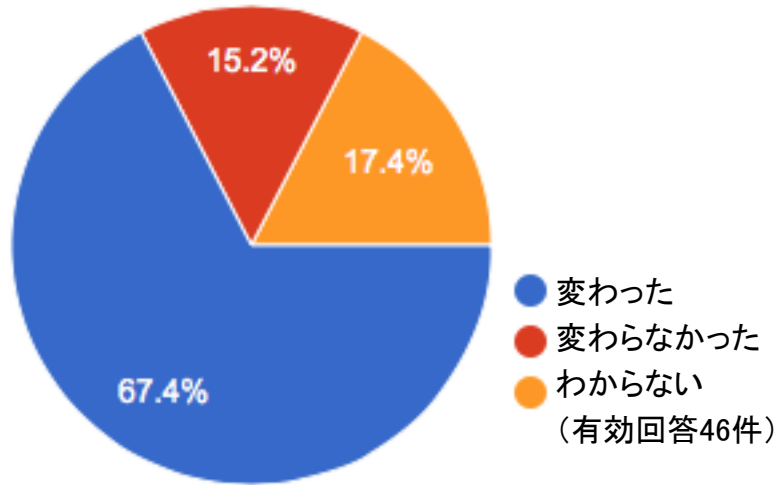
「不安や不満を感じたことがある」と答えた回答者に、選択肢式・複数回答可で回答してもらった。有効回答63件を100%としたときの得票率。

「その他」の記述:「保育士さんと話す時間」「園庭がない(2)」「外遊びが少ない」「運動スペースの狭さ」「生活環境」「ケガ」「延長保育の定員」「保育時間、次年度の受け入れ可否」「禁止事項の多い管理の仕方」「持ち物の不備に対し親を執拗に責める、子どもの物の管理が杜撰、散歩が少ない、制服がある」「制度に関する知識不足」「園長ではなく主任保育士が実質最高権限者で、園運営が独裁的な面があった」「定員不足」「無認可の新設園だったため漠然とした不安があった」

「保育の質」として大切に考える事柄

2018年5月 保育園を考える親の会 臨時アンケート

▼あなたが保育園等に子どもを通わせる前と後では、「保育の質」として大切に考える事柄が変わったか。



▼「変わった」のはどんなことか？

自由記述回答(31件)を要素分類。数字なしは1件。

【入園後に気づいたこと】

- 保育の質は妥協してはいけない
- 親の都合より子どもための保育の質(4)
- 子どもが安心して楽しいこと(3)
- 保育士の子どもへのかかわり、遊びの質(6)
- 保育士の0歳児保育の専門性
- 保育士によって子どもの育ちが違う(2)
- 保育士の資質(5) *うち、悪い発見が2件
- 保育士のゆとりや意欲(2)
- 保育士の待遇や定着率(4)
- ともに育ててくれ、導いてくれる(2)
- 生活の場としての質
- 安全・健康面(2) *うち、悪い発見が1件
- 園庭など戸外遊び環境(2)
- 保護者のコミュニティをつくれる

【入園前に気にしたこと、イメージ】

- 入れたらどこでもいい(4)
- 認可園ならどこでも同じ
- 園庭・施設などハード面(4)
- 保育士は単に世話をする人、遊ぶ人(2)
- 保育士はベテランがいい
- 英語やお稽古ごと(2)
- 親へのサービス(2)

見学・転園した保護者の声から 「その差は驚くべきものでした」

質が高いと思った園

- ・ [運営] 子どもへの思いやあたたかいまなざしを持って運営している。
- ・ [配置] 一年を通じて同じ先生に見ていただけた。
- ・ [保育内容] 子どもたちとの向き合い方に一生懸命で全力。
- ・ [保育内容] 声かけ、読み聞かせ、外出、子どもの成長に合わせて興味のもてる遊びをするなどが細やか。
- ・ [ゆとり] 保育士が仕事を楽しんでる。ゆとりがある。
- ・ [子ども] 子どもが安心して通える。

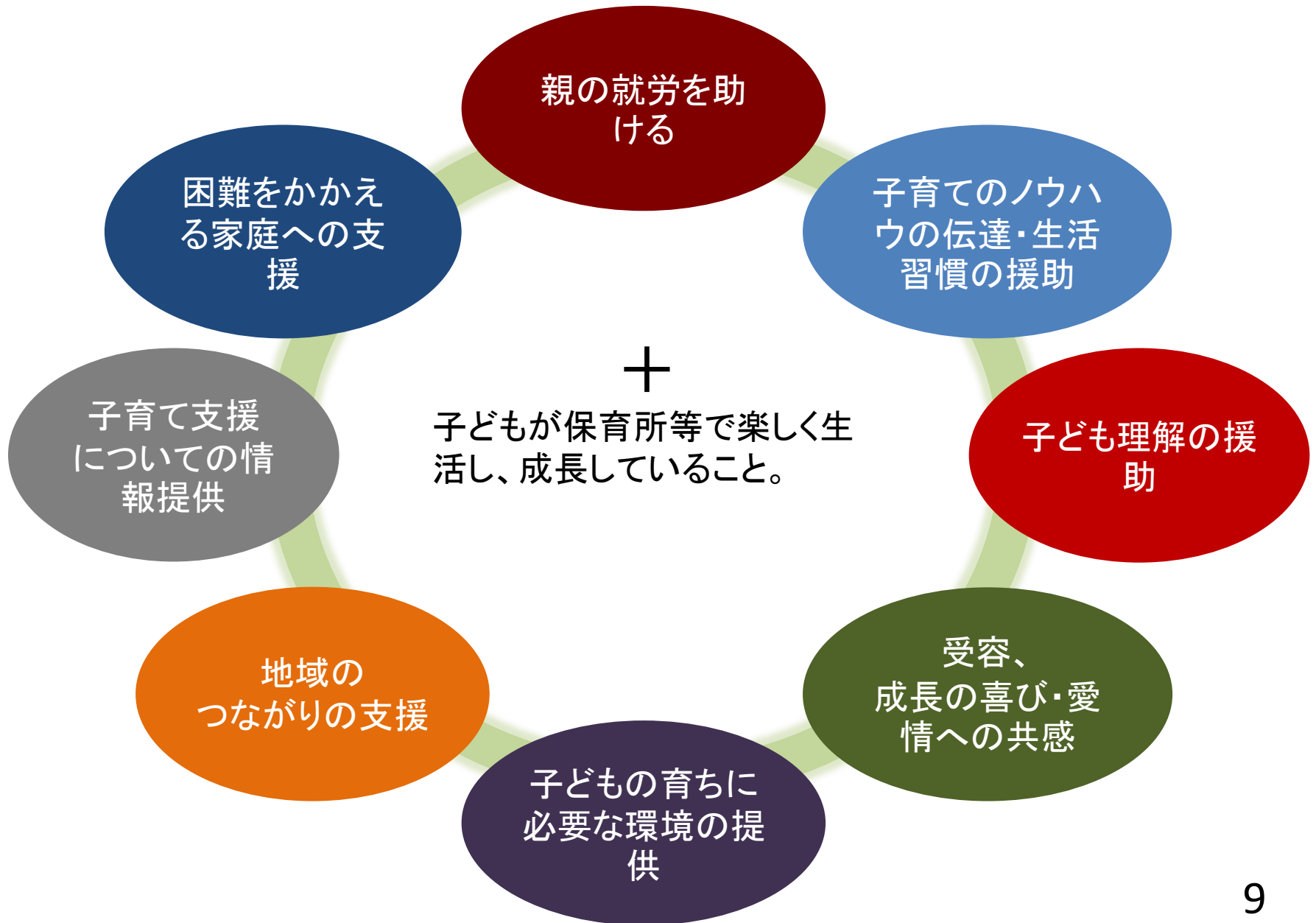
質が低いと思った園

- ・ [運営] とにかく子どもの生活を回すことに必死。
- ・ [配置] 保育士の入れ替わりが激しく、一年で担任全員が変わった。
- ・ [保育内容] 子どもに言うことを聞かせることに必死。
- ・ [保育内容] ユニークな試みや英語や絵画をやっているけど、子どもが安心できていない。
- ・ [子ども] 園によって、担当する先生によって、子どもの育ちが違う。
- ・ [子ども] 先生の態度(見下す、ダメと決めつける)を子どもがマネする。

保護者と子どもが支えられる 保育の姿

保育所等の保護者支援の8つの力

普光院作成。保育園を考える親の会に届く保護者の声から分類抽出。



親の就労を助
ける

- 育休明けで初めて子どもを預けた時に、なかなか子どもが保育所に慣れれず一日中泣いて過ごしていることが辛かったが、その時の先生が丁寧に日中の様子を伝えてくれて、励ましてくださったことがとても支えになり心強く、仕事復帰や育児との両立、子どものケアなど助けられて感謝しました。

子育てのノウハ
ウの伝達・生活
習慣の援助

- 保護者懇談会で、幼児クラスになれば自立の方向へ、（朝の支度など）母親が手出ししすぎずにと、話してくれました。
- 手あそび、手作りおもちゃなど、子どもとのコミュニケーションの材料を知り、勉強になった。

子育てのノウハ
ウの伝達・生活
習慣の援助

子ども理解の
援助

- 「自分で身支度ができなくて…」と相談したときに、「家ではおかあさんに甘えたいんだと思いますよ。保育園ではしっかりやっているので何も問題ないです」と子どもの気持ちを代弁しつつ、安心させてくれたこと。
- ケンカをした時も、いつも双方の気持ちを確認し、自分の気持ちを言語化して伝えること、相手の気持ちを聞くことを繰り返し教えてくれていました。親としても「まずは子どもの気持ちを聞くこと」（イタズラも、悪意でしているのではなく子どもなりの理由がある）を保育園で学びました。

子育てのノウハ
ウの伝達・生活
習慣の援助

子ども理解の
援助

- 個人面談で、2歳児の「やる気（自主性）」の大切さを、かなり具体的に教えていただきました。以後、子どもを肯定的に受けとめることに親が注意深くなり、子どもも前向きになってきました。
- 年3回のクラス別保護者会で、年齢に応じた発達の見通し（イヤイヤ期、いっちょ前の3歳児）などを説明してくれること。適切な靴について、具体的な情報提供してくれること。年齢に応じた友だちとの関係について説明してくれること。

子ども理解の 援助

- ・ 参観後の面談で「娘は協調性がないように見えたが大丈夫だろうか」と相談すると、先生が「2歳の頃はまだ集団で行動しないもの。むしろまわりに流されないのがHちゃんのいいところ」と言われ、ハッとしました。
- ・ 子ども同士の関わりを通して社会性（友だちのけんかを仲裁したり、なぐさめたり）を伸ばすように大人は見守るようにしていると知り、この保育園で集団生活を送ることができて本当によかったと思った。

受容、 成長の喜び・ 愛情への共感

- ・ 連絡ノートに、親バカ話を書くと、「園でもこんなことやってましたよ～」と、とってもかわいいエピソードを返してくれます。いつも連絡ノートを読んで、元気をもらっています。
- ・ 「こんなこと出来るようになりましたよ」「あっという間に大きくなりますね」とたわいもない会話すべてに感謝です。夫は単身赴任、実の母は遠方という環境で子育てしていると、子どもの成長とともに、その場でリアルに喜びを分かち合える人がいないんです。

受容、 成長の喜び・ 愛情への共感

困難をかかえ る家庭への支 援

- ・ 夫が単身赴任になったとき、私一人でやりくりしなければならない大変さを理解してくれて、子どもが一時、情緒不安定になったときも、子どもを抱きしめてくれたりして、気持ちに配慮してくれた。

困難をかかえ る家庭への支 援

- ・ 自己主張が強くなった2歳ごろの時期はノイローゼになりそうでした。保育園の先生方が一緒に子育てしてくれていなかったら、虐待の当事者になっていたのでは、と思います。

子どもの育ちに
必要な環境の
提供

- 毎日どろんこになって遊んでいること。自分（母）ひとりでは、（乳児もいるし）とてもできない。
- クラスでピーマンを栽培し、収穫した日。息子は「れいたちのピーマン入った！」と大喜びだったそうで、その日を境に大嫌いだったピーマンが食べられるようになり、自信をつけたようです。

子どもの育ちに
必要な環境の
提供

- 母親だけではためらいがちな、体を動かす遊びをたっぷり取り入れてくれ、感謝しています。
- 保育園に行くようになって、自分でやりたいという意欲が高まったように感じます。お友達がいることも大きく影響しているように思います。

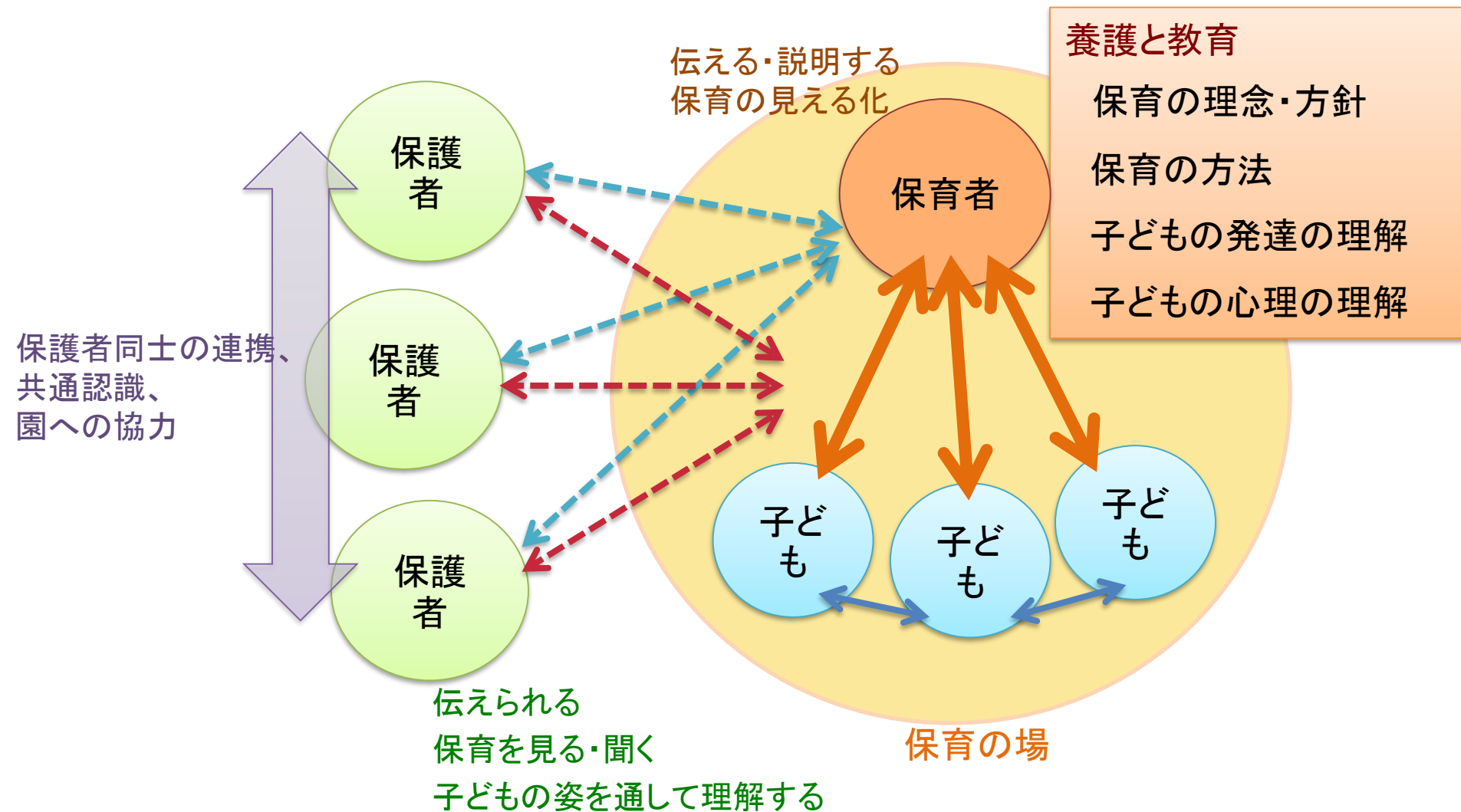
地域の
つながりの支
援

- クラスのほかの父母と話したり、ほかの子どもの様子を見て、自分の育児に自信をもったり、見つめなおしたり、考え方を変えたり、と多くの刺激が与えられた。
- 父母会があり、先輩ママが色々教えてくれたり他のクラスのママとも交流が持てて良かったと感じています。卒園した今も、出勤時の朝に会うと子どもの話に花が咲きます。

「生活の場」であることの強み

- 子ども同士が、遊びはもちろん、生活をともにすることによっても「協同的な学び」が生まれる。
- 保育所における生活そのもののの中に様々な「学び」の素材がある(日常的な食育など)。
- 子ども自身が生活習慣・健康管理を実践する場であり、保育の専門性に基づいた援助が行える。
- 保護者の就労を支え、子どもの日中の生活を支えるという緊密な関係性のもと、家庭を包括的に支援できる。
- 家庭や子どもの変化(SOS)に気がつきやすい。

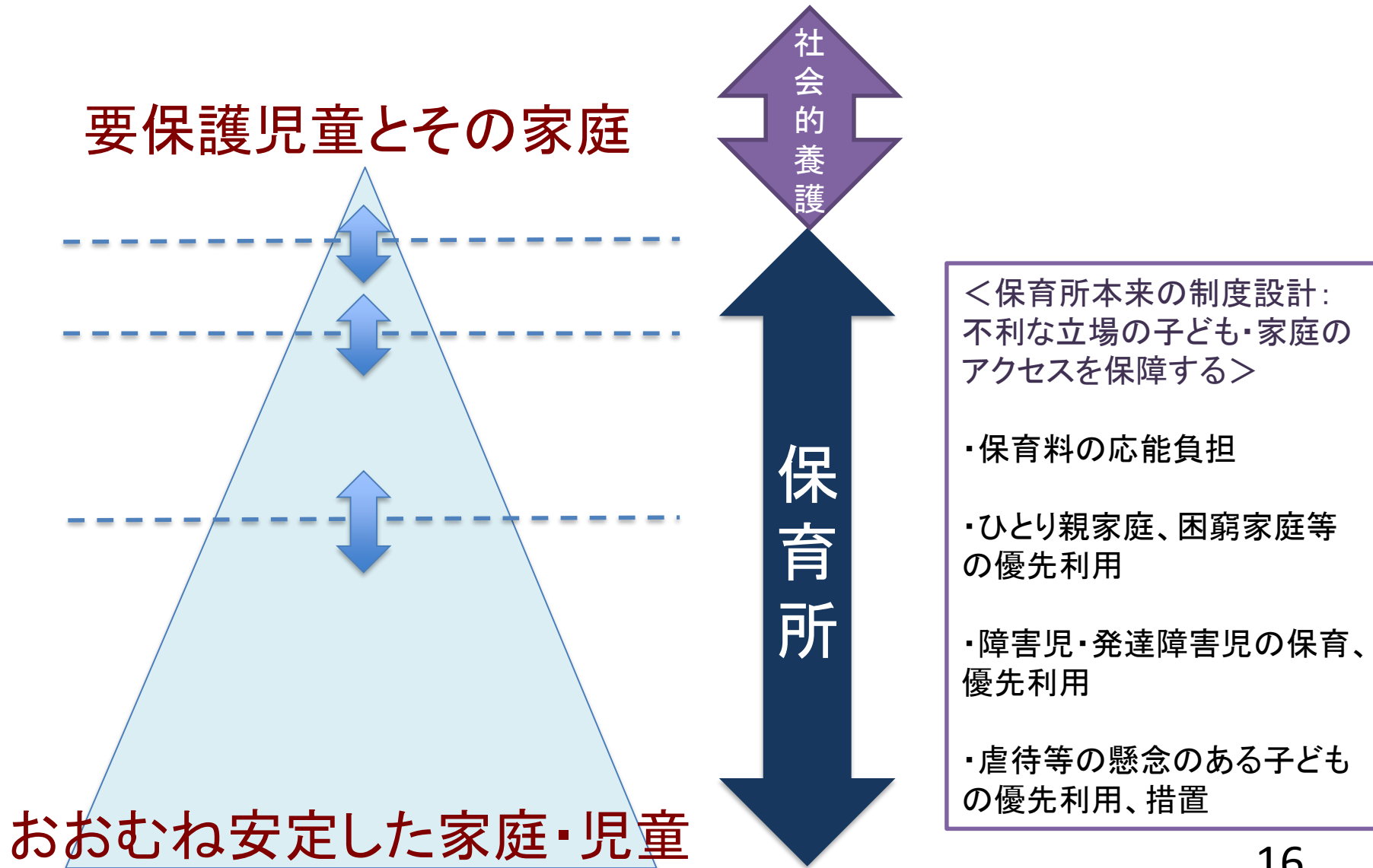
保育の質と保護者支援の関係



＜質の高い保育は、質の高い保護者支援を実現する＞

養育困難予防のための支援の質

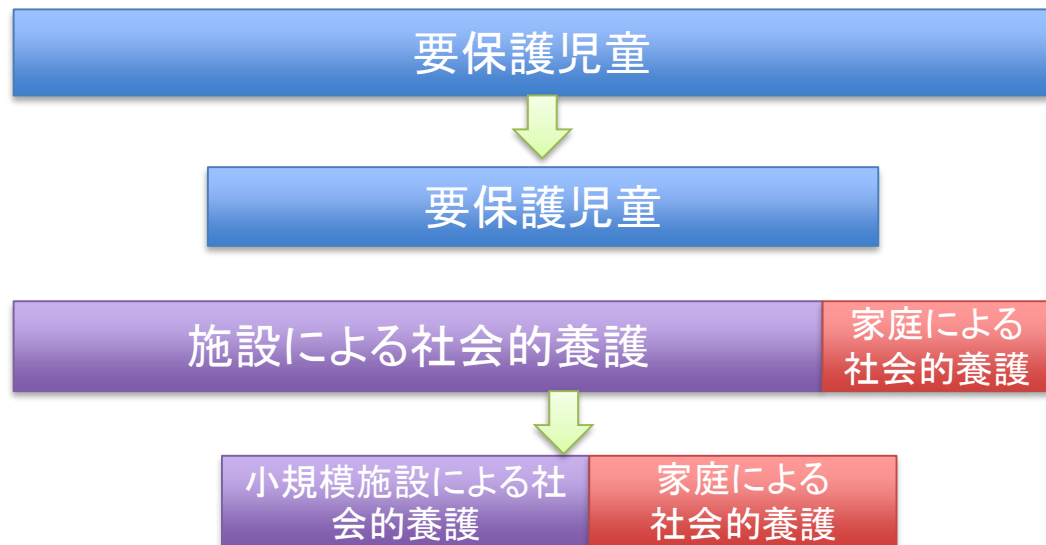
保育所は多様な家庭の子育て支援を担っており、 社会的養護と境を接している



保育所等は 社会的養護に至る前の段階で 家庭を支援する役割も担う

保育所等は、日々子どもの保育を実施しながら、保護者と接し、子どもの発達や生活の状態、保護者の養育や生活の状態を把握できる立場にある。必要な場合には、支援を自ら行ったり、他の支援につないだりできる機能も有している。この支援の質も、保育の質の延長線上にある。

2016年児童福祉法改正。「家庭による社会的養護」をふやす方向性が示された。



そのためには、そもそもの「社会的養護ニーズ」の抑制が必要であり、**保育所等による家庭支援の強化**が重要であることが議論された。*

*「2016年11月30日 第6回 新たな社会的養育の在り方に関する検討会」。

質の確保・向上に必要と考えられる
こと

一人ひとりの子どもに向き合える 保育者の

ゆとり

(手がかけられる)

専門性

(子どもの身体・心理・発達への理解)

経験

(適切な判断・対応ができる)

が必要

保育の質の向上のために

- 保育士のこまやかな関わり、子どもの主体的な活動、協同的な学びの重要性など、基本的なことがおさえられていない現場への対応。現場のみならず、事業者（経営者）、保護者の理解も必要。
- 「同僚性」を高めることによって保育の質を上げる運営手法などグッド・プラクティスを波及させる必要。
- 研修機会の保障。
- 現場のゆとりをつくる（業務改善、人員増、補助員の配置）
- 人材の確保と定着のためのさらなる方策を。

施策はどのように現場を支えるか

[施設の質]

人材 施設長の資質
保育士の資質
その他の職員の資質

設備 保育室のゆとり
園庭等の環境
適正規模の調理室

教材 遊具・玩具・絵本等
表現の道具や素材

保護者 保育への理解・協力

[事業者の質]

理念 子どもの尊重
保育に関する専門性
児童福祉への理解

具体 施設設備・教材への投資
職員育成
職員の適正な処遇

☆現場の声を聞き
必要なお金を使い
必要なサポートをする

[国・自治体]

基準

(施設設備・運営面・指針)

給付・補助金
(公費の投入)

研修の支援

指導・支援・評価

支える

支える

関与・指導・支援

[参考]質を確保する施設の外側のしくみ

- ①都道府県等による指導監査
- ②基礎自治体による巡回相談・支援
- ③施設情報の開示(子ども・子育て支援法)
- ④保護者の協働や参画(保護者のかかわりや協力による質の向上)
- ⑤第三者評価

参考資料

- 保育園を考える親の会・臨時アンケート2018
- 保育園を考える親の会・会員アンケート2016 →
- 保育園を考える親の会・会員アンケート2005
- 保育園を考える親の会・全国私立保育園連盟・月刊誌「保育通信」各号連載「ことば」(会員の輪番執筆、2012～2018年分)
- 保育園を考える親の会ホームページ「園選び見学ポイント」
- 普光院亜紀 2011「保育所と保護者の関係性に関する研究 ～1990年代から2000年代の「保育園を考える親の会」の活動を手がかりとして～」(修士論文)
- 世田谷区認可保育所整備・運営事業者選定(審査)評価基準
- 2016年11月30日 第6回 新たな社会的養育の在り方に関する検討会 議事録
- 新たな社会的養育の在り方に関する検討会 2017「新しい社会的養育ヒンジョン」
- 本検討会・第1回配布資料

「預けたくないと思った理由」の自由記述の全回答。
→

